

人工膝関節置換術 治療計画表 No. 1

殿

担当医師  
 担当看護師  
 担当理学療法士  
 担当管理栄養士  
 担当薬剤師

日付	外来日	入院日(手術前日)	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目
治療目標	安心して検査・入院が受けられる	入院・手術の必要性の理解が出来る	手術に対する不安が訴えることが出来る	手術後感染なく経過出来る 腓骨神経麻痺出現なく経過出来る 麻酔の副作用なく経過出来る	
治療	主治医の診察があります 		点滴をします 	手術  酸素吸入をします 患部に管が入ります 場合により背中に痛み止めの管が入ります 血流を良くする機械を足に装着します 患部を冷やす機械を装着します	酸素吸入を中止します
内服	抗凝固剤を服用している方は、お薬を持参して下さい 薬剤師より薬について説明があります 	内服薬を確認します 必要に応じて眠前に下剤を服用します 	内服は休薬します(麻酔科の先生の指示で内服する場合があります)		内服再開します 
検査	採血・検尿・心電図・肺機能検査があります 膝のレントゲン検査があります 膝のレントゲンと膝のCT写真をとります	    		血液検査があります  術後にレントゲンを撮ります 	血液検査があります 
検温		2回/日検温を行います 	術前に2回(6時・9時)に検温を行います 	術後は必要に応じ検温を行います 	4回(6時・10時・14時・20時)検温を行います
安静		歩行可能 		ベッド上安静になります 	車椅子乗車が出来ます 
清潔		術前2日間シャワーに入り患部をきれいにします 手術範囲の除毛・爪きり   	朝、口腔内をきれいにします 髭剃り(男性) 		体を拭きます(術後3日間) 
排泄		トイレで排泄  排便の処置をします		尿の管が入ってます 	
食事		食事が出来ます 	絶飲食になります 		朝より食事再開になります 
リハビリ		機能・能力評価を行います 自主トレーニングの指導をします 	リハビリは休みです		ベッドでリハビリをします 車椅子乗車練習をします 自主トレーニングの指導をします 
医師病状説明		麻酔科医師の診察があります 		手術の説明があります 	
看護説明	入院について説明があります 	手術についての説明があります この用紙についての説明があります この用紙を持参して下さい 入院生活についての説明があります 	手術室の看護師より説明があります		

人工膝関節置換術 治療計画表 No. 2

殿

担当医師  
 担当看護師  
 担当理学療法士  
 担当管理栄養士  
 担当薬剤師

日付	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後7日目	術後10日目	術後13日目	退院日
治療目標	手術後感染なく経過出来る 腓骨神経麻痺出現なく経過出来る 麻酔の副作用なく経過出来る	車椅子に乗ることが出来る トイレで排泄ができる			車椅子乗車が自力で出来る 転院に対する不安がない			
治療	点滴をします 患部の管を除去(術後2~3日目) 以降の創部処置は適宜行います 血流を良くする機械を足に装着 患部を冷やす機械を装着します 痛み止めの管を抜きます					抜糸をします (術後10~14日目)		転院
内服								
検査		血液検査があります			血液検査があります		レントゲンを撮ります	
検温	4回(6時・10時・14時・20時)検温を行います	3回(6時・14時・20時)検温を行います	2回(14時・20時)検温を行います	1回(14時)検温を行います				
安静	車椅子乗車が出来ます							
清潔	体を拭きます		体を拭きます(3回/週) 髪を洗います(2回/週)			抜糸翌日よりシャワー浴が可能になります		
排泄	尿の管が入ってます	尿の管を除去します トイレで排泄します						
食事								
リハビリ	ベッドでリハビリをします 車椅子乗車練習をします 自主トレーニングの指導をします	状態に応じて訓練室で リハビリをします 歩行の練習をします					退院前の機能・能力評価をします	
医師病状説明								退院の説明があります
看護説明								退院時に説明があります